



～おはなしと絵本を楽しむ～

おはなしグループ「パルランド」通信



第20号

2021年6月

おはなしには、日本のものや外国のもの、昔話や創作のものといろいろなおはなしがあります。文化や風習の違う外国にも、日本と似たようなおはなしがあります。海を隔てた遠くの国にも似たおはなしがあるのには驚きつつも、嬉しくなります。共感する部分があれば、その国独自の文化や風習にも出会えます。本を通して、遠い国やはるか昔に旅し、疑似体験することができます。現実では体験できないようなことも

どの国にも、素敵なおはなしがあって、私たちは活字となった本を通して出会ったものを、覚え、言葉とすることで、本来の形に戻るように思います。声に出す、耳で聞くというのは人間の本来の姿のようです。



おすすめのおはなし

おいとけ堀

夏のこわいおはなしのひとつ。

釣れた魚を持って帰ろうとすると「おいとけ～おいとけ～」と気味の悪い声がする恐ろしい「おいとけ堀」。

ある日豪傑ものの侍が、その「おいとけ堀」に釣りに出かける。帰ろうとするとあの恐ろしい声がする。豪傑ものの侍は恐ろしいのをこらえて帰ろうとすると今度は…。

他にも「千びきおおかみ」「くものお化け」「子育てゆうれい」などが入っている幼年童話シリーズのひとつ。声に出して読むのがおすすめ。

筒井悦子再話 太田大輔絵
千びきおおかみ
日本のこわい話
こぐま社



おすすめの絵本

へそもち

おへそが大好物のかみなり。

かみなりは、家や高い木に飛び降りては村の衆を困らせていました。家々を荒らし回り、人間や動物からおへそを取って行ってしまうのです。

そんなある日、かみなりはお寺の上に。和尚さんは五重塔のてっぺんに檜を立て、飛び降りてきたかみなりを引っかけて捕まえました。

赤羽さんの絵がとても素敵で大人まで楽しめます。本物の雷はこわいけど(笑)

渡辺茂雄 さく
赤羽末吉 え
福音館書店



図書館のおはなし会は、どんな年齢の子が来るかわかりません。ある日、とっても幼い子たちが来られました。年齢的にはおはなしを聞くのは難しいです。それでも大人の人に知ってもらおうと「とりのみじい」を語ると、小さな子たちも鳥の歌のくりかえしが楽しかったよう。意味はわからなくてもリズムを楽しんでくれていました。



出張おはなし会 (学校園ほか) の記録

3月～5月実施

「とりのみじい」「ねことねずみ」
「ふたりのケーキづくり」
「りんごひめニーナ」



長引く緊急事態宣言により、図書館のおはなしや出張おはなし会も中止となっています。とても残念ですが、一日も早く感染を減らして、安心して活動できるよう願って、予防を心掛けたいものです。

早く子どもたちとおはなしを楽しめる日が来ますように。

図書館大きな子のおはなし会

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館 (電話 0795-23-5991)
パルランド 丸山 (電話 090-8930-0921)

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

